

## 平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

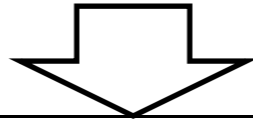
事業名	ハローワークプラザ運営費			担当部局	職業安定局		作成責任者			
事業開始年度	平成11年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	首席職業指導官室		首席職業指導官 浅野 浩美			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名	IV-1-1: 公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること					
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号			関係する計画、通知等	—					
主要政策・施策				主要経費	社会保障					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	求職者がハローワークの職業相談・職業紹介サービスを容易、かつ、効果的に利用することができるようにし、求人と求職のマッチングの促進を図る。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	ハローワークプラザにおいて、求職者が求人情報等を簡易かつ効率的に閲覧することができる求人情報提供端末を設置するとともに、職業相談・職業紹介等を実施する。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	2,236	860	288	235	—			
		補正予算	—	—	—	—	—			
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—			
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—			
		予備費等	—	—	—	—	—			
	計		2,236	860	288	235	0			
	執行額		1,949	719	235	—				
執行率(%)		87%	84%	82%	—					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度		
	平成27年度のハローワークプラザの就職率40%以上	ハローワークプラザの求職者の就職率	成果実績	%	31.5	33.4	38	—		
			目標値	%	31	32.5	35	40		
			達成度	%	101.6%	102.8%	108.6%	—		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	ハローワークプラザの新規求職申込件数			活動実績	件	506,451	140,293	56,327	—	
				当初見込み						
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	X:執行額(千円) / Y:就職件数(件)			単位当たりコスト	円	12,231	15,352	10,954	11,305	
				計算式	X/Y	1,949,104千円 / 159,356件	719,489千円 / 46,867件	234,685千円 / 21,425件	235,153千円 / 20,800件	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	102								
	職員旅費	1								
	庁費	67								
	土地建物料	65								
計	235	0								

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、求職者の利便性の高い地域において、その就職の実現を図ることを目的として実施しているものであり、広く国民のニーズがあるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、国が行うセーフティネットとしての職業紹介として実施しているものである。このため、すべての地域で安定的継続的に職業相談・紹介サービスが提供できるよう、引き続き、全国ネットワークを持つ国において実施すべきである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、国が行うセーフティネットとしての職業紹介の取組として、求職者の利便性の高い地域において、その就職の実現を図ることを目的として実施しているものであり、雇用対策は喫緊の課題であることを踏まえると、優先度は高いものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の見直しの結果、平成26年度においては実施拠点を減少させたため、必ずしも経年での比較は出来ないが、就職件数1件あたりのコストとしては、必要最低限の経費であり、水準は妥当と考える。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	職業相談員に対する諸謝金等、職業相談、職業紹介業務に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	施設維持管理費用が当初の見込みを下回ったため。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は目標以上の実績をあげている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込み以上の実績をあげている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	成果実績については、引き続き成果目標を上回り、活動実績については平成25年度は活動見込みを下回ったものの、平成26年度は上回った。今年度も引き続き効率的な執行に努めるとともに、求職者の就職実現に向けた効果的な業務運営を行うこととする。			
	改善の方向性	平成27年度においても、利用者の利便性の向上を図るため、職業紹介業務に加え、雇用保険関係業務も取扱う庁舎外窓口として施設の再編を行う。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	671	平成23年度	608	平成24年度	543
平成25年度	454	平成26年度	463		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国

厚生労働省  
235百万円



【予算示達】

A. 都道府県労働局(21箇所)  
235百万円

ハローワークプラザ相談員の配置  
ハローワークプラザの運営

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
諸謝金	職業相談員等の謝金					
職員旅費	ハローワークプラザの運営に係る経費		精査中			
庁費	ハローワークプラザの運営に係る経費					
土地建物料	ハローワークプラザの土地建物借料					
計			0	計		0

支出先上位10者リスト  
A.都道府県労働局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	〇〇労働局		精査中	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					